

立命館大学大学院
2021年度実施 入学試験

博士課程前期課程

社会学研究科
応用社会学専攻

入試方式	実施月	社会学	
		ページ	備考
一般入学試験	9月	P.1～	
	2月	P.6～	
社会人入学試験	9月		
	2月		
外国人留学生入学試験	9月	P.1～	
	2月	P.6～	
学内進学入学試験	7月		
	9月		
	2月		
APU特別受入入学試験	9月		
	2月		
飛び級入学試験	2月		

【表紙の見方】

×・・・入学試験の実施がなかった等の理由で入学試験問題の作成がなかったもの、または、問題を公開しないもの
斜線・・・学科試験(筆記試験)を実施しないもの

立命館大学大学院
2021年度実施 入学試験
博士課程後期課程

社会学研究科
応用社会学専攻

入試方式	実施月	社会学		外国語(英語)	
		ページ	備考	ページ	備考
一般入学試験	9月	P.3		P.4~	
	2月	P.8		P.9~	
社会人入学試験	9月	P.3			
	2月	P.8			
外国人留学生入学試験	9月	P.3		P.4~	
	2月	P.8		P.9~	
学内進学入学試験	9月			P.4~	
	2月			×	

【表紙の見方】

×・・・入学試験の実施がなかった等の理由で入学試験問題の作成がなかったもの、または、問題を公開しないもの
斜線・・・学科試験(筆記試験)を実施しないもの

【2022年4月入学】社会学研究科応用社会学専攻 博士課程前期課程

社会学

<受験上の注意事項>

1. 答案用紙の記入の仕方

研究科名	専攻名	課程	受験科目名	受験番号	氏名
社会学研究科	応用社会学 専攻	前期課程	社会学	自分の 受験番号	自分の氏名

2. 解答方法

解答は答案用紙に記入すること。なお、裏面の使用や用紙の追加は認めない。

3. 持ち込み許可物件

持ち込み許可物件はなし。

4. その他

問題用紙・メモ用紙も提出すること。

— 社会学 — (横書き)

問1 次の語句から 3つ を選択し、それぞれの内容について説明しなさい。

1. アウラ
2. ステイグマ
3. エンパワメント
4. 技術決定論
5. 競技スポーツ
6. リスク社会
7. 発表ジャーナリズム
8. 地域福祉計画
9. エイジング
10. 無知のヴェール
11. 新自由主義
12. 合理的選択理論
13. ホーソン実験
14. アドボカシー
15. 近代家族
16. エンコーディング/デコーディング
17. 想像の共同体
18. スポーツにおける男性中心主義
19. 弱い紐帯
20. ジェントリフィケーション

問2 次の問題から 1つ を選択し、10行以上 で、考えるところを論じなさい。

1. 現代日本の非正規雇用にはどのような特徴や問題があるか論じなさい。
2. 「市民的公共性」を考えるにあたって、コミュニティとアソシエーションの果たす役割について論じなさい。
3. COVID-19の感染拡大に伴うメディアやコミュニケーションの変化について論じなさい。
4. 貧困や社会的不平等の世代間再生産と呼ばれる問題とその解決方策について論じなさい。

問3 次の文章を読んで、設問に答えなさい。

社会現象が個人のふるまいに分解して理解できるかどうか、分解して理解できるならどのようにしてか、分解して理解できないとすればなぜかという点が、社会学的な設問の根幹にかかわる。この問いに対して、社会学には、大きく ① 2通りの解答の仕方が存在する。ひとつは、個人のふるまい方についてじゅうぶんな情報がえられれば、そこから出発して社会現象を説明することができるとする見方が存在する。この見方は、個人がなぜそのようにふるまうかについての理解と結びつかない社会現象の探究は、社会学的な説明として不十分とみる。たとえば、拡大再生産をもとめる近代資本主義がヨーロッパに登場するという社会現象は、経済活動と縁もゆかりもない、神の栄光のもとで魂の救済をもとめる個人の内面的な力が、特定の宗派の教説（予定教説）によって水路づけられたことの「意図せざる結果」とであると説明される。

いまひとつの見方は、これに対し、社会現象は個人のふるまいに分解して理解することができない、あるいは、個人のふるまい方に関する情報をどこまで足し合わせても社会現象の特性に到達できないとみる。いかえると、社会現象には個人のふるまい方に還元できない独自の性質（創発特性）が存在するとみる。すなわち、社会現象は個人がつくりだすが、つくりだされた社会現象は個人の外にあって個人のふるまいを拘束する性質を帯びると主張する。たとえば、一見きわめて個人的なふるまいに見える自殺には、個人の外部にあって個人のふるまいを拘束する性質が失われた「社会的無秩序（アノミー）」状態によって引き起こされるタイプが存在すると説明される。

現代社会学では、上記の2つの接近法のうちのどちらかを適用してそのまま記述、分析を終えるという作法は影を潜めている。すべての個人の人生をかたちづくる社会的行為を余すところなくつぶさに記述することは、どだい不可能である。すなわち、直接観察するやり方で社会の全域を追体験することは不可能だ。他方、A. コントが19世紀前半に社会学（sociologie）という言葉を出して以来、社会学は社会全域の状態をつかまえ、できればこれをなんとか予測しようとしてきた。では、直接観察できる範囲をこえた社会の全域を対象とする学問的営みは、いかにして成立するのだろうか。

この問いに対して社会学が開発したのは、個別に立ち入れば無限に近い多様性を備えた社会的行為について、② 繰り返し設定可能な問いに着目するという考え方だ。進路選択をするにせよ、ボランティア活動をするにせよ、ラブレターを書くにせよ、仕事のクレーム処理にあたるにせよ、論文を引用するにせよ、何のためにそうするかは、繰り返し設定可能な問いだ。また、なぜその目的を追求するかは別種の問いである。かりに同じ目的をめざしても、なぜその目的をあえて追求するのかは千差万別である。社会的行為の内容が何であれ、行為の目的と動機が何であるかを特定することは、このように繰り返し設定可能な問いである。

（松本三和夫『科学社会学』東京大学出版会，2021年，pp. 3-6，一部改変）

1. 下線部①「2通りの解答の仕方」とは何か。200字程度で要約しなさい。
2. 下線部②「繰り返し設定可能な問い」に社会学が着目するのはなぜか。本文で述べられていることをもとに答えなさい。

【2022年4月入学】社会学研究科応用社会学専攻 博士課程後期課程

社会学

<受験上の注意事項>

1. 答案用紙の記入の仕方

研究科名	専攻名	課程	受験科目名	受験番号	氏名
社会学研究科	応用社会学 専攻	後期課程	社会学	自分の 受験番号	自分の氏名

2. 解答方法

解答は答案用紙に記入すること。なお、裏面の使用や用紙の追加は認めない。

3. 持ち込み許可物件

持ち込み許可物件はなし。

4. その他

問題用紙・メモ用紙も提出すること。

— 社会学 — (横書き)

問1 次の語句から 4つ を選択し、それぞれの内容について説明しなさい。

1. アウラ
2. スティグマ
3. エンパワメント
4. 技術決定論
5. 競技スポーツ
6. リスク社会
7. 発表ジャーナリズム
8. 地域福祉計画
9. エイジング
10. 無知のヴェール
11. 新自由主義
12. 合理的選択理論
13. ホーソン実験
14. アドボカシー
15. 近代家族
16. エンコーディング/デコーディング
17. 想像の共同体
18. スポーツにおける男性中心主義
19. 弱い紐帯
20. ジェントリフィケーション

問2 次の問題から 2つ を選択し、10行以上 で、考えるところを論じなさい。

1. 現代日本の非正規雇用にはどのような特徴や問題があるか論じなさい。
2. 「市民的公共性」を考えるにあたって、コミュニティとアソシエーションの果たす役割について論じなさい。
3. COVID-19の感染拡大に伴うメディアやコミュニケーションの変化について論じなさい。
4. 貧困や社会的不平等の世代間再生産と呼ばれる問題とその解決方策について論じなさい。

【2022年4月入学】社会学研究科応用社会学専攻

外国語（英語）

<受験上の注意事項>

1. 答案用紙の記入の仕方

研究科名	専攻名	課程	受験科目名	受験番号	氏名
社会学研究科	応用社会学専攻	後期課程	外国語（英語）	自分の受験番号	自分の氏名

2. 解答方法

解答は答案用紙に記入すること。なお、裏面の使用や用紙の追加は認めない。

3. 持ち込み許可物件

一般的な英語辞書の持込を認めますが、辞書機能付の電子手帳等や情報通信機器の携行は認めません。

4. その他

問題用紙・メモ用紙も提出すること。

— 外国語（英語） —（横書き）

以下は、社会学と自然科学における差異を述べた文章である。以下の問いに日本語で答えなさい。

The words 'what' and 'why' neatly expose the difference between the social sciences and the natural sciences. For the chemist they can be the same thing. When chemists have collected enough data under the right controlled circumstances to be confident they know what happens, they also know why it happens. But when the German sociologist Max Weber collected enough information to persuade himself that there was some strong connection between the spread of the Puritan branch of the Protestant Reformation and the rise of modern industrial capitalism (the 'what' issue), he had only begun. He wanted to know why the Puritans developed a set of attitudes that were particularly conducive to modern entrepreneurial methods. He wanted to know why a particular set of religious beliefs could have created a novel attitude to work and to consumption. He sought the answer in the minds of the Puritans. In order to explain, he had to understand.

① The sociologist's interest in beliefs, values, motives, and intentions brings with it concerns unknown in the natural sciences. To understand people, we need in some manner to solicit their views or accounts of what they are doing. Furthermore, we can take the same point back one step and note that it is not just understanding that requires some interest in motives. Even identifying the social act we wish to understand requires attention to motives. The ways of defining when a liquid changes to a gas make no reference to its state of mind. But the actions of people cannot be known simply by observing them. Or, to put it another way, the physical action itself is not enough. Suppose we are interested in how people interact in public places. We sit at a table in a crowded railway station and watch and take notes. But if we confine ourselves only to what was visible, we learn little. We note 'man facing platform raises arm in air and moves it from side to side'. We cannot say 'man waves to greet incoming passenger', because that description gives a particular interpretation based on a guess about intention, to the physical action. He might actually be trying to relieve a trapped nerve or restore blood flow.

For simple acts performed by people of our own culture, we can often assume we know their significance. I have met enough people off trains to know 'waving' when I see it. But suppose the action involved kneeling and lowering and raising the body with the arms outstretched. In Peking, it might be a form of exercise. In Cairo, it might be a prayer. ② In the end the only way to ascertain the meaning of the action is (by some method or another) to ask the person 'What are you doing?' Even the identification of actions requires some attention to intentions.

Even more so does their explanation. In one way or another, the sociologist ends up having to ask people about their motives and intentions. ③ But asking and being asked are themselves pieces of social interaction. The accounts that people give can be knowingly false: people lie. More commonly accounts are simultaneously honest attempts to reconstruct past motives and current performances through which people pursue present interests and

the two things are maybe difficult to separate.

出典 : Reprinted from *Sociology: A Very Short Introduction*, by Steve Bruce, Oxford Publishing Limited. Copyright © 2018 Oxford Publishing Limited. Reproduced with permission of the Licensor through PLSclear. 一部変更

問 1 下線部①、②、③を和訳しなさい。

問 2 ドイツの社会学者 Max Weber は、自身の問いに答えるために何を明らかにしたのか。‘what’と‘why’の指し示す内容がわかるように、具体的に説明しなさい。

【2022年4月入学】社会学研究科応用社会学専攻 博士課程前期課程

社会学

＜受験上の注意事項＞

1. 答案用紙の記入の仕方

研究科名	専攻名	課程	受験科目名	受験番号	氏名
社会学研究科	応用社会学 専攻	前期課程	社会学	自分の 受験番号	自分の氏名

2. 解答方法

解答は答案用紙に記入すること。なお、裏面の使用や用紙の追加は認めない。

3. 持ち込み許可物件

持ち込み許可物件はなし。

4. その他

問題用紙・メモ用紙も提出すること。

— 社会学 — (横書き)

問1 次の20の語句から3つを選択し、それぞれの内容について説明しなさい。

1. プロテスタンティズムの倫理
2. ナショナル・ミニマム
3. スペクタクル社会
4. 地位の非一貫性
5. 文化産業
6. アーカイブ
7. シミュラークル
8. オリンピズム
9. ソーシャルワークの3技法
10. ポストコロニアリズム
11. 批判理論
12. ホモソーシャル
13. 新しい社会運動
14. クリエイティブ・コモンズ
15. 優生思想
16. 中範囲の理論
17. 官僚制の逆機能
18. 文部科学省のスポーツ立国戦略
19. 相対的貧困
20. 構築主義

問2 次の4つの問題から1つを選択し、10行以上で、考えるところを論じなさい。

1. 機会の不平等と結果の不平等という2つの視点から、学歴社会について論じなさい。
2. 余暇について、社会科学的な何らかの観点と関連づけながら論じなさい。
3. メディアと記憶の関係について論じなさい。
4. 日本政府は新型コロナウイルス感染症対策で、諸外国と異なる独自の対策をとった。日本の対策はどのようなものか、諸外国の事例にも触れながら具体的に論じなさい。

問3 次の文章を読んで、1. と2. に答えなさい。

「社会」があること、そしてその「社会」のなかにさまざまな「社会的なもの」や「社会現象」があることは、多くの人にとって自明である。人間が社会的生物であり、人間の生きる世界が社会的世界である以上、「社会」や「社会的なもの」や「社会現象」は私たちの周囲に当然のように存在する。それは“石を投げれば社会に当たる”くらいに自然なことだ。そんな風に多くの人には考えていないだろうか。

もちろん、「社会」は「自然」ではない。それは「人工的」で「人為的」なものである。多くの社会学者はそう言うだろう。人間の階層は動物の集団内の順位とは異なる社会的諸資源の配分と関係しているし、社会病理は身体をむしばむ病とは異なり社会生活のなかの諸関係や諸構造に由来するのだし、人工環境としての都市とそこでの人間集団の営みは自然環境のなかの生物の集団生活とは異なる制度や文化や技術のなかにある。だから社会は自然ではないのだ、と。そんな「自然ではないもの」としての「社会」や「社会的なもの」や「社会現象」が存在することを、社会学者ではない多くの人びとはもちろんのこと、少なからぬ数の社会学者もまた、ごく当然のように考えている。

だが、社会学という知の可能性の中心には、社会がそんな風にごく自然に存在してしまうことへの違和感や驚きがあると、私たちは考える。

自然ではないものとして社会が「ある」のは、人が他者たちと共に集合的な生を生きることによって、そこに社会をあらしめてしまうからだ。自己と他者たちを様々な規則や制度や表象で架橋し、他者たちと共に世界を生きる関係の構造と過程を通じて、私たちは「社会」や「社会的なもの」や「社会現象」を現象させながら、それをごく自然にあるもののように受け取って生きている。自分たちの先祖が動物をはじめとする自然界の事物だったとするトーテムズ的思考は、近代人にとってはおとぎ話のような虚構だが、そうした思考を生きる人びとにとって自然である。近代人にとって市場経済は自然な、それこそ人間の本性に基づくものと思われているけれど、市場社会を生きていない人びとには「貨幣」や「価格」といった虚構に支えられた不自然な制度に見えるだろう。どちらの場合でも社会の現実性は、トーテム神話や貨幣と価格の現実性を信じて人びとが集合的に振る舞う時、それを振る舞う人びとによって現れるのだ。

外側から見るとなんとも奇妙で驚くべきことが、内側を生きている人びとにはごく自然なものとして存在し、生きられている。私たちはそんな風に社会を生きている。だから時に、社会のそんな現れ方や感じられ方についての違和感や驚きの芽のようなものを、ふと感じてしまうこともあるのだが、そんな違和感や驚きを見つめ、そこから考える視点や方法をもたないかぎり、多くの場合、それらはやり過ぎられてしまうのである。

当然のように存在する社会と、その社会をごく自然に生きる人びとの意識や感覚や感情や行為を「自然にあるもの」ではなく、集合的な生の構造と過程を通じて現れる「虚構」やその「効果」のようなものとして問うこと。そんなひねくれて見えるような問い方こそが、私たちが「社会」と呼ぶ対象に対する素直な問い方なのである。

(若林幹夫〈はじめに——「社会が現れるとき」と「社会学(のようなもの)が現れるとき」〉若林幹夫・立岩真也・佐藤俊樹編『社会が現れるとき』(東京大学出版会、2018年)をもとに一部改変。)

1. 下線部に関して、「“石を投げれば社会に当たる”くらいに自然なこと」という著者の喩えは、どういう意味だろうか。「多くの人」が「社会」と「自然」の関係をどのように捉えているかを踏まえて、150字程度で説明しなさい。

2. 筆者は本文のなかで、社会学という学問の可能性をどのように考えているか、150字程度で要約しなさい。

【2022年4月入学】社会学研究科応用社会学専攻 博士課程後期課程

社会学

＜受験上の注意事項＞

1. 答案用紙の記入の仕方

研究科名	専攻名	課程	受験科目名	受験番号	氏名
社会学研究科	応用社会学 専攻	後期課程	社会学	自分の 受験番号	自分の氏名

2. 解答方法

解答は答案用紙に記入すること。なお、裏面の使用や用紙の追加は認めない。

3. 持ち込み許可物件

持ち込み許可物件はなし。

4. その他

問題用紙・メモ用紙も提出すること。

— 社会学 — (横書き)

問1 次の20の語句から4つを選択し、それぞれの内容について説明しなさい。

1. プロテスタンティズムの倫理
2. ナショナル・ミニマム
3. スペクタクル社会
4. 地位の非一貫性
5. 文化産業
6. アーカイブ
7. シミュラークル
8. オリンピズム
9. ソーシャルワークの3技法
10. ポストコロニアリズム
11. 批判理論
12. ホモソーシャル
13. 新しい社会運動
14. クリエイティブ・コモンズ
15. 優生思想
16. 中範囲の理論
17. 官僚制の逆機能
18. 文部科学省のスポーツ立国戦略
19. 相対的貧困
20. 構築主義

問2 次の4つの問題から2つを選択し、10行以上で、考えるところを論じなさい。

1. 機会の不平等と結果の不平等という2つの視点から、学歴社会について論じなさい。
2. 余暇について、社会科学的な何らかの観点と関連づけながら論じなさい。
3. メディアと記憶の関係について論じなさい。
4. 日本政府は新型コロナウイルス感染症対策で、諸外国と異なる独自の対策をとった。日本の対策はどのようなものか、諸外国の事例にも触れながら具体的に論じなさい。

【2022年4月入学】社会学研究科応用社会学専攻

外国語（英語）

<受験上の注意事項>

1. 答案用紙の記入の仕方

研究科名	専攻名	課程	受験科目名	受験番号	氏名
社会学研究科	応用社会学専攻	後期課程	外国語（英語）	自分の受験番号	自分の氏名

2. 解答方法

解答は答案用紙に記入すること。なお、裏面の使用や用紙の追加は認めない。

3. 持ち込み許可物件

一般的な英語辞書の持込を認めますが、辞書機能付の電子手帳等や情報通信機器の携行は認めません。

4. その他

問題用紙・メモ用紙も提出すること。

— 外国語（英語） —（横書き）

以下は、地位を説明した文章である。以下の問いに日本語で答えなさい。

The first act of the opera *Margaret Garner* draws to a close with Edward Gaines, a Kentucky plantation owner, hosting a lavish reception to celebrate the engagement of his daughter, Caroline. Feeling forgotten after a twenty-year absence from the community, Gaines has invited the local gentry and views the celebration as an opportunity to re-establish his family and plantation in local society. Margaret Garner, the Gaines's household slave and the lone servant tending the party, offers champagne to the guests. The year is 1856; the guests accept the champagne but ignore her person entirely.

During the celebration, Gaines, Caroline, and Caroline's fiancé engage in a public exchange on the meaning of love. Unable to reach an agreement, Caroline turns to Margaret and asks for her view on the matter. ① Having been the recipient of Margaret's care and affection for nearly her entire life, Caroline feels that Margaret can contribute meaningfully to the conversation. The guests, however, are shocked that the daughter of their host would ask a slave to opine on the significance of love, and leave the reception immediately.

② The deference that Caroline showed to the slave was a sign not only of the questionable nature of Caroline's character, but of her father's as well. Likewise, had any of the guests remained at the reception, their characters too would have been judged by the community. Gaines, no doubt, is left enraged by the party's abrupt demise. While the event did indeed provide Gaines with the opportunity to establish a position for himself in the local society, the position was much lower in status than the one he coveted.

Whether one focuses on a social gathering in the antebellum South, underwriting contests among modern investment banks, or the invisible colleges of social scientists, at least four common patterns arise. First, actors look to others' status as a signal of their underlying quality. In the above scene, all guests at the party rely on status to infer who is capable of opining on love and who is not. A plantation owner who hosts an event attended by the local social elite is assumed to have high-quality advice on the significance of love; a slave is not.

Second, an actor's status influences the rewards that she receives. In the scene above, the primary reward is the (positive) attention that an individual receives for contributions to the group. At the beginning of the reception Gaines and his future son-in-law received considerable positive attention for rather simplistic theories of the meaning of love. In contrast, no praise was given to the slave Margaret Garner for her more heartfelt expression of love's meaning nor for the service of champagne; she was instead completely ignored.

Third, an individual's status position is not fixed, but arises from the exchange relations between individuals. In the *Margaret Garner* example Caroline lowers her status when she enters into a conversation on the meaning of love with a slave, and in so doing lowers the status of those with whom she is associated (i.e. her father). ③The only way that the father could avoid his own status being lowered would be to disown his daughter (i.e. refuse to associate with her), and the only way that the guests could avoid their status being lowered was to leave the party. While more implicit than explicit, there is also a fourth pattern or theme manifest in the above example: actors are especially likely to rely on status queues to make inferences about quality when there is considerable uncertainty about that underlying quality. Because Gaines and his daughter are essentially new to the local community, Caroline's 'shocking' display of deference to the slave is a stronger signal of her character than had she been a long-standing member of the community.

Reprinted from *The Oxford Handbook of Analytical Sociology*, Peter Bearman, Peter Hedström, Oxford Publishing Limited.
Copyright © 2011 Oxford Publishing Limited. Reproduced with permission of the Licensor through PLS clear.

問1 下線部 ①、②、③を訳しなさい。

問2 status と quality の関係について、本文で説明されている2つの側面から説明しなさい。